



HP

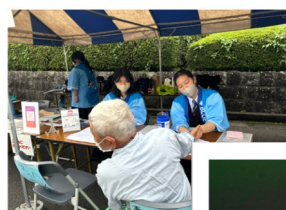


Instagram

佐賀県立唐津青翔高等学校 佐賀県東松浦郡玄海町大字新田1809番地11

玄海町産業文化祭

11月17日（日）に第33回玄海町産業文化祭が行われ本校からも出店やパフォーマンスで生徒が参加しました。情報ビジネス系列では屋外ブースにて、オリジナル商品の「よかAJI」を販売しました。生徒が積極的に声掛けや試食を勧めていたため、たくさんのお客様に手に取っていただき午前中で商品100個を完売することができました。生活福祉系列では無料でハンドマッサージを実施しました。地域の方を中心にマッサージを受けてくださり、施術後はとても満足そうに帰られていました。美術・デザイン系列はステージで玄海町の棚田の夕焼けをライブペインティングで描き、そこに書道選択者が「玄海夕景」の文字を書き込む書道パフォーマンスを行いました。どの系列も産業文化祭を盛り上げようと尽力していました。参加した生徒は「パフォーマンスは緊張したけど楽しかった」「お客様に喜んでもらえてよかった」「目標よりも多くの商品を売ることができて嬉しかった」と話していました。産業文化祭に参加したことによって、地域とのつながりをより強く感じることができました。今後も地域との関りを大切にしながら積極的に今回のようなイベントへの参加をしていきたいと思います。



韓国文化系列 釜山研修

11月20日(水)～11月22日(金)の3日間、本校の韓国文化系列の生徒が韓国・釜山での研修に行ってきました。この研修は、異文化交流や国際的な視野を広げることを目的として行われ、生徒たちは現地の文化や歴史を学びながら多くの貴重な経験を積むことができました。研修では甘川文化村や海東龍宮寺、釜山博物館など地元の観光地や博物館を訪れました。また、釜山外国語大学校を訪問し現地の学生たちと交流しました。英語や簡単な韓国語を使いながらのコミュニケーションは生徒たちにとって良い経験となり、異文化理解を深めるきっかけとなりました。参加した生徒たちからは「韓国の文化を直接体験できてとても楽しかった」「韓国語でうまく話せなくて悔しかった」「日本との文化の違いを感じて自分たちの文化について考える機会になった」という感想が寄せられました。釜山研修を通じて、生徒たちは異文化理解だけでなく、他者と協力する力や自己表現の大切さも学ぶことができました。



青風祭

～体育の部～

11月14日（木）に青風祭の体育の部が行われました。生徒会役員や応援リーダーを中心にこの日のために準備を重ね、競技や応援に全力で臨んでいました。赤団は『赫灼』青団は『雲外蒼天』をスローガンにして競技を行いました。「2人3脚」から始まり、「竹取物語」や「綱引き」、各学年ごとの「クラス対抗リレー」が行われました。どの競技も全力で臨み白熱していましたが、特に「応援合戦」では8分という短い制限時間の中で、リーダーの演舞や団員を含めたダンス、唐津くんちの囃子など各団の練習の成果を感じる素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。生徒からは「盛り上がるのができてとても楽しい体育祭だった」「競技で負けてしまったことは悔しかったが、楽しい思い出を作ることができた」「ずっと練習してきて本番で良いものを出すことができてよかった」などの感想が寄せられました。最後は応援リーダー同士で競技の勝敗関係なく互いに称えあう様子も見られ、生徒たちにとって努力すること、全力で物事に取り組むこと、他者を認めることの大切さや楽しさを学ぶことができ心の成長に繋がったと感じています。いつも学校運営にご理解をいただいている地域の方や保護者の皆様、ご観覧いただいた皆様、本当にありがとうございました。

